

- ・「者」もしくはそれに近い言葉を探して挙げていく。
- ・その言葉が誰のことを指しているかを行頭（カッコ）内に示し、さらに色分けする。
- ・各行末尾に示したページ数は、文藝春秋刊『ab さんご』による。
- ・さきに死んだほうの親、あとから死んだほうの親、子、家事がかり、それ以外で分ける。複数の場合は（カッコ）内のみ色付けする。表記は順に（先）（後）（子）（家）（外）。  
例：（子）ゆめの受像者 p5



### <受像者>

- （子）その、まよわれることのなかった道の枝を、半せいきしてゆめの中で示されなおした者 p4
- （子）おだやかな目ざめへとまさぐりとどいた者 p4
- （家）いなくなるはずの者 p5
- （子）ゆめの受像者 p5
- （子）朝の帰着点がさざめきでかざられるようになった者 p6
- （子）あけさえすればずっとここにいたのだったかとなっとくした者 p6

### <しるべ>

- （先）死者 p7
- （後）死者の配偶者 p9

### <窓の木>

- （子）三そう目からおりていく者 p10
- （子）じぶんづきの者 p11
- （後）机にうしろすがたのない者 p12
- （後）さがしものをしていた者 p12
- （後）二そう目を専有していた者 p12
- （後）身をななめにようやく立ちあがった者 p13
- （子）それをはげまして+ねんでもーねんでもいいではないかおわりに気のすむようにしつらえたらと言うはずの者 p15
- （子）親の家を住みすてた者 p15
- （子）それらが密生している家に生まれそだった者 p15
- （子）言いだされた者 p16
- （後）持ちぬし p16
- （子）ことわり手 p16
- （子）幼児だった者 p16

(後) 老年 p16

<最初の晩餐>

- (家) おもいちがいをしている者 p17
- (家) あいだに人ふたりは行って紹介されてきた者 p17
- (家) 家事専任者ではない p18
- (外) あいだに入った者 p18
- (家) 外来者 p18
- (家) ベつの生活圏からきた者 p18
- (外) 旧くからの者たち p19
- (家) (外) 見つけにくくなっている家事専従者 p19
- (家) 被害者 p20
- (家) (外) どんな者 p20
- (家) (外) じぶんたちとはことなるしゆるいの者 p20
- (家) (外) がまんしにくくかんじる者たち p21
- (家) やとわれた者 p21
- (家) 長く耐える者 p21
- (外) 十三さい児と十ばかりしかちがわない者 p21
- (子) 共謀者 p22
- (後) (子) 共演者 p22

<解釈>

- (子) 建てもののうらがわにまわっていった者 p22
- (子) うらがわをきもちよくとりしきっていた者 p23
- (子) 断じてそれを見ならいたくない者 p24
- (子) 専用の席がもてた者 p24
- (後) 初老の多忙者 p25
- (子) ひさびさにおもいだした者 p26
- (子) がらすごしにのぞく者 p26
- (子) 出かけるところだったのかと問う者 p26
- (家) こたえた者 p26
- (家) 解釈することにした者 p26
- (家) 通過者 p27
- (子) (家) もどりみちをふさがれた者たち p27
- (後) (子) 先住者ふたり p27
- (家) るすばん人 p28

- (外) 気くばりのゆきとどいた使用人 p28
- (後) (子) 繁忙者たち p28
- (後) (子) 住みうつって十ねんの者たち p28
- (家) 改変者 p28

### <予習>

- (後) 未来の話などすることのなかった者 p29
- (子) 十ねん生きたことのない者 p29
- (後) 西欧をひとつきほどあちこちする機会をもった者 p29
- (家) 早晚通りすぎるはずの者 p30
- (後) 二ねんほど疲れきわめていた者 p31
- (後) 旅だつ者 p32
- (家) 年かさの方の見おくり人 p32
- (外) 運転者 p32
- (家) 手をつないできた者 p32
- (後) 車中の者 p32
- (家) 子と見なされた者 p32
- (後) あこがれることのめずらしい者でもなく p33
- (後) 初老の者 p33

### <やわらかい檻>

- (後) (子) 目をそむけている者たち p38

### <旅したく>

- (子) 店さきで言われた者 p39
- (子) ちゅうもん者 p39
- (後) 支はらい人 p39
- (家) 住みこみ人 p39
- (子) 家出計画者 p39
- (後) まっすぐにうれしがっていた者 p40
- (家) 家計管理人 p40
- (子) もたらされない贈りものについてわざわざ話されるのなどはじめての者 p42

### <満月たち>

- (子) 所有をおかしたりおかされたりするばめんに出あうことなくすごしてきた者 p44
- (子) つややかなものたちをたずさえてきた者 p46

- (外) おわりから三まい目を手にした者 p46
- (子) おこるとかとりもどそうとかはかんがえつかなかった者 p46
- (子) 六つの満月を想起した者 p47
- (外) 他者 p47
- (子) うばわれた色でどんなにぎやかな図がらが貼られたのを見ようなどともてんからかんがえおよばなかった者 p47
- (子) いつまでもきれいにはなれない者 p48
- (後) 死んだ一代まえの者 p48

### <暗い買い物>

- (子) 身のまわりにありあまっていた者 p49
- (外) (後) さきにじじょうに通じている者たち p50
- (後) きいた者、きいている者 p51
- (子) きかれた者、きかれている者 p52
- (家) べつの者 p52
- (子) よくわかった者 p52

### <秋の靴>

- (子) 喪のいろの靴をもっていない者 p52
- (子) 親が死にかけている者 p52
- (子) なんとかたちよる者 p53
- (子) きみょうなおもいにおちた者 p53
- (家) 観察者 p53
- (後) かせぎ手 p53
- (後) (子) もともとうかつな者たち p54
- (家) 金銭配分人 p54
- (後) 死病者 p54
- (後) 衰弱者 p55
- (子) すこし離れてすわっていた者 p55
- (外) 同棲者 p55
- (子) 家出人 p55
- (後) 近く死ぬと決まった者 p56
- (子) 生きかたをえらんだ者 p56

### <草ごろし>

- (外) 知らない者、知っている者 p57

- (子) (外) その道を通る者 p58
- (子) たえだえのかよいじを足うらに知っていた者 p58
- (子) はるか地面を離れた階のろうかをたどる者 p59
- (子) 皆ごろしになっていった時期とがかさなる者 p59
- (後) (子) 保持権も関与権もないとあつかわれた者 p60
- (家) 外来の観察者 p60
- (家) 半だ一すのきょうだいでそだった者 p60
- (家) → (×) 横暴な忘恩者 (○) こころやさしい者 p61
- (家) こうはしておくべきではないと熱心に信じた者 p62
- (子) なりたくない者 p62

### <虹のゆくえ>

- (子) きょうだいも親の親もない者 p63
- (外) 縁者 p64
- (子) いあわせたかいあわせなかったかの記憶が欠けている者 p65
- (先) 昏睡者 p65
- (外) 医療者 p65
- (外) ちかしい者 p66
- (後) 死病者 p66
- (子) しかたのないことをしていた者 p66
- (外) (家) 指示人 p66
- (後) 臨死者 p66

### <ねむらせうた>

- (後) 前日窒息死しかけた者 p67
- (後) 装置につながれた者 p67
- (後) 衰弱者 p67
- (子) 受けとめてはえがおでうなづく者 p68
- (家) 情報媒介者 p70
- (後) 老年者 p70
- (後) 病者 p70
- (子) 記憶逸失期にくりいれてしまう者 p71
- (先) 早逝者 p71
- (後) 学究 p72
- (後) ねむらせ手 p73

<こま>

(後) 病人 p74

(外) つきそい人 p74

(後) 当の者 p74

(後) 目をあくこともまれな者 p74

(後) 還暦者 p74

(子) まかせて出てきた者 p74

(家) 熱望者 p74

(後) その者 p75

(子) おもしろされた者 p75

(家) ふうの者 p75

(後) 老年 p75

(子) かつての住人 p75

(子) るすばん人 p75

(子) 助手 p76

(家) 配偶者 p76

(子) 家出人 p76

(家) 法的資格希望者 p76

(後) 共演者 p76

(子) 秘術をつくっていた者 p77

(子) 巻き貝のしんからにじり出た者 p77